

# 日本医史学雑誌 第68巻 第2号

## 目 次

### 第123回 日本医史学会総会・学術大会 演題目次

#### プログラム

##### 特別講演

- 1 医史学からの風  
近代医学が歩んできた道——世界の中の日本の医学 …………… 坂井 建雄 125
- 2 愛媛からの風  
伊予の甲冑の歴史  
——古代から近世に続く多様性と機能—— …………… 友澤 明 126

##### 教育講演「臨床からの風」

- 1 心臓血管手術からの風  
心臓血管外科の進歩 …………… 石戸谷 浩 128
- 2 脳神経外科からの風  
脳神経外科の過去・現在・未来  
——本邦における脳神経外科の歩みと今後の動向—— …………… 大上 史朗 130
- 3 放射線科からの風  
放射線科画像診断～過去から未来へ …………… 三木 均 131
- 4 肝臓学からの風  
肝臓病の医学史——肝炎ウイルスの拡散と制御—— …………… 道亮浩二郎 132
- 5 感染症からの風  
新型コロナウイルス感染症パンデミックと我が国の対応 …………… 四宮 博人 133

##### 公開シンポジウム「地方で医史学の花を咲かせよう」

- 1 三津同盟と村上玄水 …………… 川畷 真人, 曾我 俊裕 134
- 2 出雲国の医学 …………… 梶谷 光弘 136
- 3 江戸時代中期の讃岐の蘭方医合田強について …………… 板野 俊文 138
- 4 革新藩・大洲 …………… 坂山 憲史 139

##### 一般演題

- 1 麻酔博物館改修事業に携わって …………… 牧野 洋, 土手健太郎 140
- 2 王立鉱泉水病院の創設と発展 …………… 柳澤 波香 141
- 3 ヴィヴェスによる医学教育論 …………… 澤井 直 142
- 4 「グリソン鞘」と「グリソン被膜」をめぐる …………… 佐藤 裕 143
- 5 ハンター兄弟による18世紀ロンドンの解剖学私塾  
——イギリス医学教育史の一場面—— …………… 土屋江里子, 坂井 建雄 144
- 6 『グットシュタット報告』を検証する  
——1890-91年ドイツの集団的医療技術評価—— …………… 月澤美代子 145

7	ペラグラ 第5報		
	——James Wood Babcock (1856-1922) の生涯と業績——	伊藤 泰広	146
8	網膜芽細胞腫：診断・治療の歴史 III	柳澤 隆昭	147
9	「沖縄戦とトラウマ」に関する研究史	橋本 明	148
10	優生保護法史におけるいくつかの問題	岡田 靖雄	149
11	日本キリスト教海外医療協力会における女性医師の活動	藤本 大士	150
12	ポリオワクチン緊急輸入が可能になった背景		
	——NHK 記者，小児科医，厚生大臣の役割——	加藤 茂孝	151
13	『耆婆五臓経』の編纂者と立川流との関係	範 駿	152
14	饗庭東庵門下の伝承についての一考察		
	……………加畑 聡子，星野 卓之，小田口 浩，花輪 壽彦		153
15	味岡三伯の薬効論		
	——後世方派から古方派への史的概観——	吉川 澄美	154
16	近世日本における医学の「復古」と革新・創成：		
	古方派「四大家」から	向 静静	155
17	中根東里を佐野に招聘した医師・金束信甫（思順）と		
	その医書について	松木 宣嘉	156
18	近代日本の医療活動の意味	山口 静子	157
19	国勢調査以前におけるわが国の年齢調整死亡率変化の死因構造と		
	医療・公衆衛生の役割	逢見 憲一	158
20	明朝初期の『回回薬方』編纂に12世紀のペルシア語医学書		
	『宝庫』が果たした役割	尾崎貴久子	159
21	感染症に対抗する「喫茶養生」実践者の歴史的考察	白井 宗佐	160
22	19世紀後半における漢方医の一考察：温知社を中心に	浅井 皓平	161
23	大正期の歯科教育改革に影響を及ぼした女子学生運動（第1報）		
	……………	永藤 欣久	162
24	日本赤十字病院の戦前の海外における事業展開と現在（台湾編）		
	……………	福永 肇	163
25	華岡青洲と父直道の瘍科の師・岩永一族の謎に迫る	今井 秀	164
26	全国の華岡流全身麻酔下の手術件数		
	……………土手健太郎，藤谷 太郎，矢野 雅起，高石 和		165
27	呉 秀三はなぜ「乳巖治験録」を改竄し，合成写真を作ったのか		
	……………	松木 明知	166
28	「解体新書」扉絵を画かせた人物をめぐって	板野 俊文	167
29	医学史的観点から理解する医学用語語源	杉田 克生，池田黎太郎	168
30	全国諸藩での医学教育機関の拡がり——美濃郡上藩を例に	森永 正文	169
31	熊本藩にみる医学校設立の目的	松崎 範子	170

32	伊藤隼三研究（1） 鳥取市における少年時代および晩年の事跡……………	竹内 薫	171
33	明治9年新川県の医務取締制度……………	海原 亮	172
34	東海地方における近代地域医療の形成 ——小寺家文書をてがかりに——……………	黒野 伸子，大友 達也	173
35	『南浜浅井先生口授』と浅井貞庵『傷寒摘句集』の研究 ……………	星野 卓之，小田 口浩，花輪 壽彦	174
36	富岡鉄斎の医家肖像……………	岩間眞知子	175
37	小酒井不木の『医学上より見たる百年後の人間』（1928年執筆）と現在 ……………	渡部 幹夫	176
38	森林太郎の『衛生新篇』の病院の項目にみる「看護」と「看護人」 ……………	平尾真智子	177
39	東洋史学者・市村瓊次郎宛ての医学者たちの書簡……………	町 泉寿郎	178
40	富士川游『醫術と宗教』とその周辺……………	土屋 久	179

#### 誌上発表

41	正倉院文書の「茶」の字は茶か……………	梅木 春幸	180
42	朝鮮の医書『東医宝鑑』ユネスコ記録遺産登録11周年記念事業 ……………	吉村 美香	181
43	中浜東一郎と医術開業試験……………	秋田 博孝	182
44	『長生療養方』と『喫茶養生記』における「桑」関連の比較考察 ……………	小磯まり子	183
45	巖智鍾の台湾血清ワクチン製造所の主要期間の予備調査……………	容 世明	184
46	荻野吟子晩年の開業地事情……………	小島 光洋	185
47	明治12年群馬県邑楽郡川俣村のコレラ騒動について ——明治前期のコレラと流言——……………	須長 泰一	186
48	正法眼蔵にみる大和言葉による身体名称……………	野田 亨	187
49	経脈病証の可能性について……………	中川 俊之	188

投稿規定……………	193
編集後記……………	195